



陰陽五行論塾Contents

六十花甲子(甲)

六十花甲子

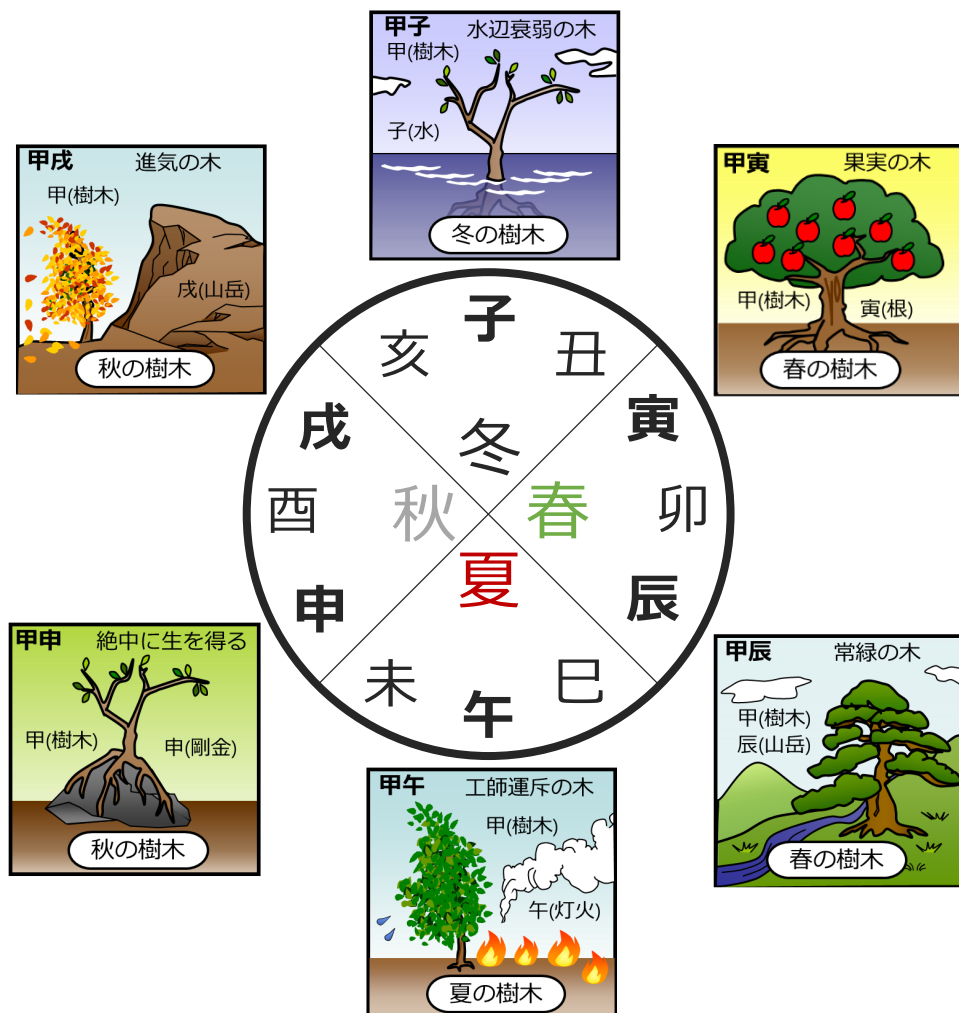
甲→貫索星の特質(自我・独立心)

器は直(正直で見えやすい)

- 本人と同じ仲間は、必ずしも良好ではない。
(人とやたらと組んではダメ)自分が目立ちたい。
- 一度、倒れると再起が困難。
- 切られても、従運として生きられる。

甲の種類

同じ甲でも組み合わせる地支によって特徴が異なる。



No.	名称	別名
1	甲子	水辺衰弱の木
11	甲戌	進気の木
21	甲申	絶中に生を得る
31	甲午	工師運斥の木
41	甲辰	常緑の木
51	甲寅	果実の木

甲子 ～ 水辺衰弱の木

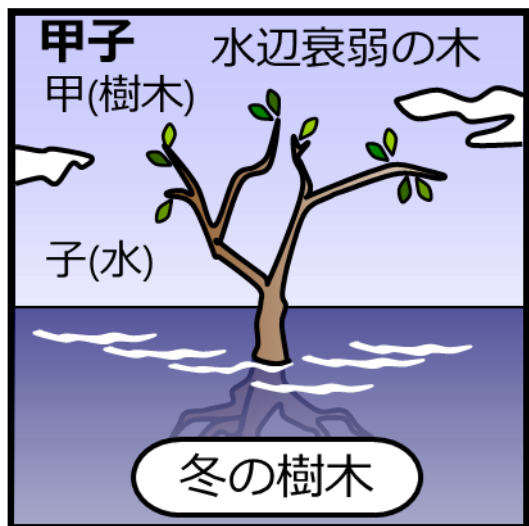
甲 木
子 水
癸 水

天恍星(7)

→玉堂星→知恵者

【注意】

基本的に日干を説明しているが、月干・年干にあると条件として持つと考える。



水の上に立っている木
→安定性がなく流されやすい環境

坊主・宗教性がある。諦めを持つ人。
自主性が無い人。
六十花甲子の一番目であり、初心に戻るの意味があり、頭を丸めるの意味もある。

甲子 ～ 水辺衰弱の木

- 他者を生かす力量あり。
冷静な判断力、活動力は鈍いが、忍耐力が強い。
- 宿命中に
培養の土を
必要とする。→
根基の土という。
日干が甲であれば、その下に
甲or乙が無いと根がはれない。
まずここをチェックする。
- 水多の宿命は、自主性・自己主張に弱く、他人に
左右され、人生が流れやすい。

女性の場合：家庭運、結婚運が薄い

男性の場合：仕事運、決断力、前進力が弱い

甲子 ～ 水辺衰弱の木

- 身弱でかつ、宿命中に庚があると人生の起伏が激しく、人生における役目が無くなる。

その他に午を持つ女性の場合

- ・ 色情の苦労。
- ・ 不安定な人生となる。

【女性の例】



その他に子を持つ男性の場合

- ・ 放浪の人生。
- ・ 商人として成功する。

【男性の例】

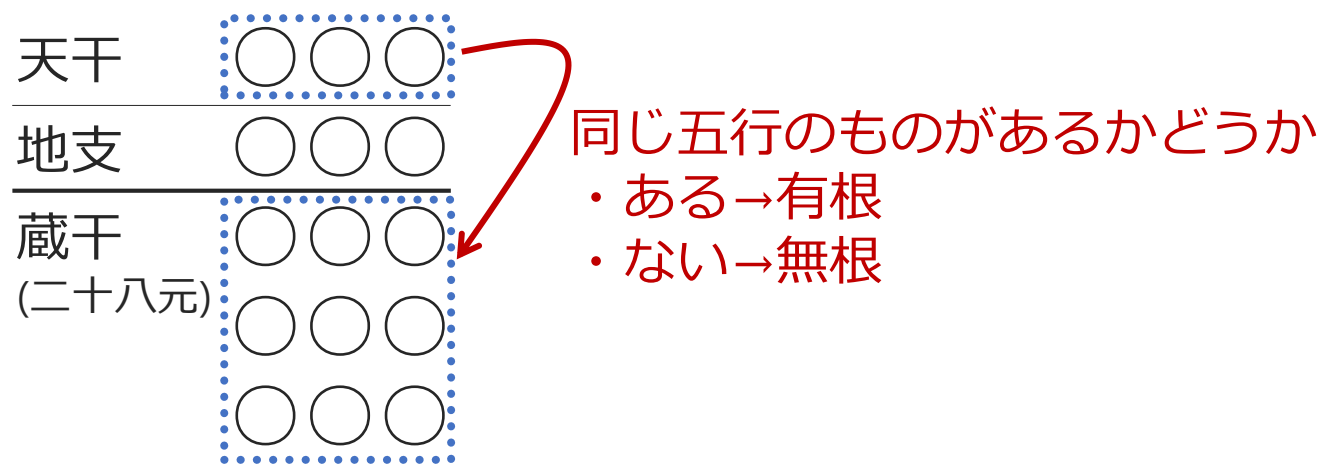


水の上に立っている木
一つの場所に根を張れない

甲子 ～ 水辺衰弱の木

根基法(日干が甲の人の場合は、必ず見ること！)

- 天干の干の五行が、全柱の二十八元に存在するかしないかを見る方法



有根～主運(自立運)

独立業、自営業、実業家、事業家向き

無根～従運

公務員(役人)～公的役割、組織人向き

→ (大抵は自立性が無く、他人に使い捨てにされる)

甲子 ～ 水辺衰弱の木

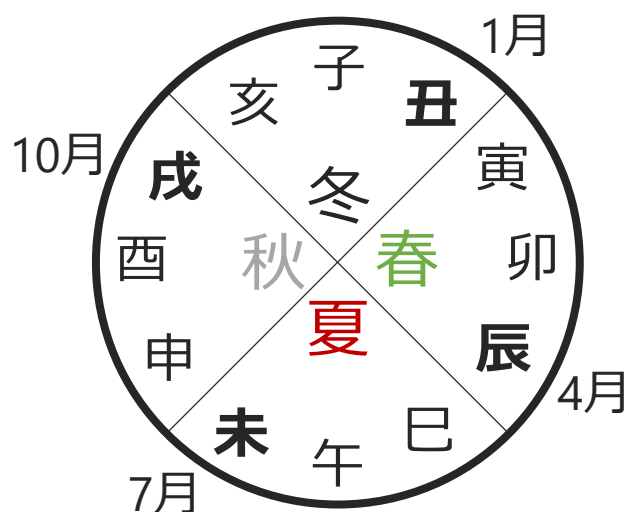
根基法(根本法とも言う)

- 根基法の応用
 - 根基法は甲だけではなく、他の日干でも同じ原理を応用できる。
 - 例えば丙が日干の場合、蔵干に丙or丁があると主運となり、自立度が高くなる。
 - 無い場合は従運となり、自立度が弱まり周圉に流される人生となり易い。

甲子 ～ 水辺衰弱の木

根基法

- 根基の土



土の種類と特徴

土	季節	月	二十八元			湿/燥	冷/暖
			初元	中元	本元		
丑	冬	1月	癸	辛	己	湿土	冷土
辰	春	4月	乙	癸	戊	湿土	暖土
未	夏	7月	丁	乙	己	燥土	暖土
戌	秋	10月	辛	丁	戊	燥土	冷土

- ・ 日干が甲の人にとって、土用の地支は培養の土としてみる。
- ・ 土によって水を含む/含まない、暖かい/冷たいが異なる。
- ・ 辰は、水を含み暖かく、甲にとって理想的な土。

甲子 ～ 水辺衰弱の木

根基法の例題

< 有根 >

天干	甲	丁	壬	甲	乙	癸	甲	丙	甲
地支	子	未	子	戌	卯	亥	午	申	寅
蔵干	癸	丁 乙 ^{根木} 己 ^土	癸	辛 丁 戊 ^土	乙 ^{根木} 壬	壬	己 ^土 丁	戊 ^土 壬 庚	戊 ^土 丙 甲 ^{根木}

地支に寅・卯・辰・未・亥が巡るとき、蔵干の甲 or 乙を天干の**甲**に対する根とみなす。

甲子 ～ 水辺衰弱の木

根基法の例題

< 無根 >

天干	甲	甲	甲	甲	丁	辛	甲	戊	甲
地支	子	戌	戌	子	酉	巳	申	辰	申
蔵干	癸	辛 丁 戊	辛 丁 戊	癸	辛	戊 庚 丙	金 申 戊 壬 庚	乙 癸 戊	金 申 戊 壬 庚

根となる甲 or 乙が蔵干に無いか、ある場合でも強い金性で剋されている場合は無根とみなす。

真言：「甲の無根は短き宿(現世) = 短命」

甲戌 ～ 冷たい土の上に乗った木

甲 木
戌 土



天印星(6)

辛 金 → 牽牛星 → 枝下ろし

丁 火 → 調舒星 → 暖かさ

戊 土 → 禄存星 → しっかりとした土

甲にとって
ありがたい
蔵干



他家の跡取り、養子の星
非常に薄情・怜利な人
冷静だが魅力の欠ける人

甲戌 ～ 冷たい土の上に乗った木

- 孤独な樹木、周囲を期待せずに耐えるに強い。
 - 縁者が少なく、動くこと大。
 - 宿命の天干に庚・辛が重複すると、金性が強すぎて薪になってしまう。
 - 大地に安定して自立しているが、秋の弱さを感じさせる。
- 暖かさが加わることが望まれる。

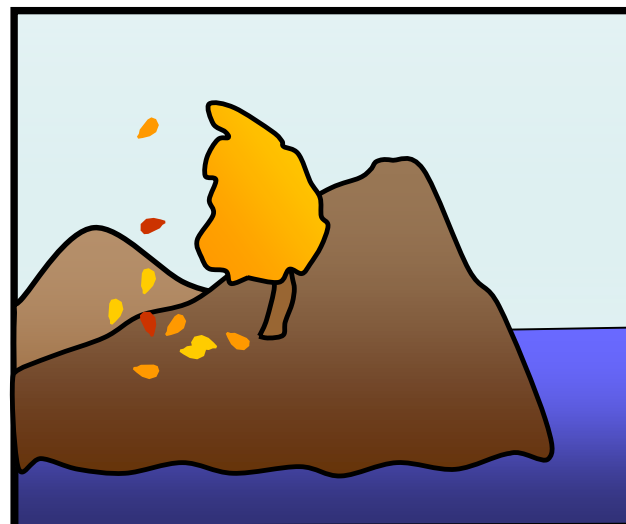
甲戌 ～ 冷たい土の上に乗った木



【例1】

甲 癸 壬
戌 亥 子

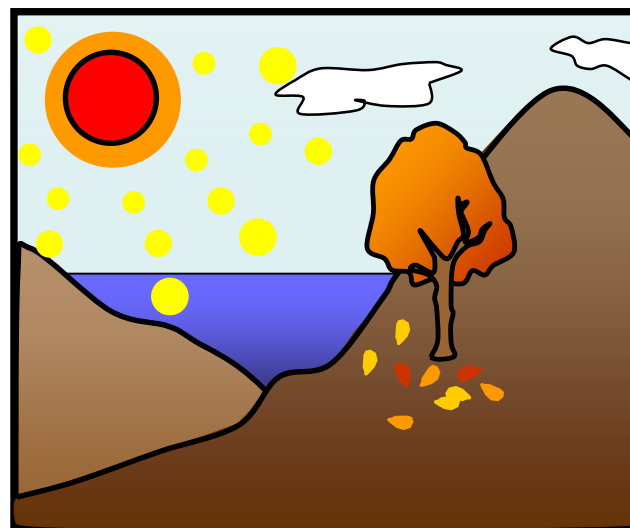
木が凍ってしまう。
勉強ばかりの冷たい
表れとなる。



【例2】

甲 癸 壬
戌 巳 午

暖かさが加味される。
知性が知恵となる。



甲戌 ～ 冷たい土の上に乗った木

【例】

甲 辛 丙
戌 卯 寅
戊 乙 甲

ありがたい存在
暖かさが加味

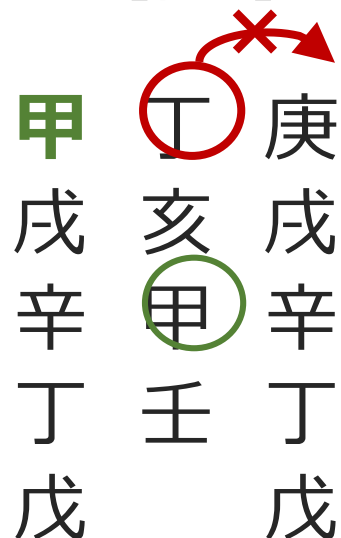
鳳閣星

主運の人

丙の存在がありがたい

甲戌 ～ 冷たい土の上に乗った木

【例1】



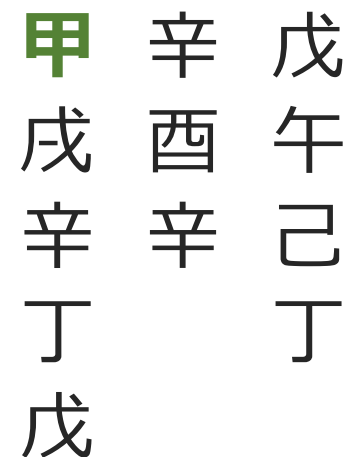
丁の直火が庚を抑え
甲に根があり強い。
死木より活木向き。
(独立業向き)

【例2】



丙の存在はありがたいが、遠火の為
庚の剛金が強い。
活木より死木向き。
(組織人向き)

【例3】



甲に根が無い。
死木として活用。
(組織人向き)

甲申 ～ 天風(理想が高い人)

甲 木

申 金



天馳星(1)

戊 土

→ 禄存星 → 根を下ろす土

壬 水

→ 龍高星 → 水

庚 金

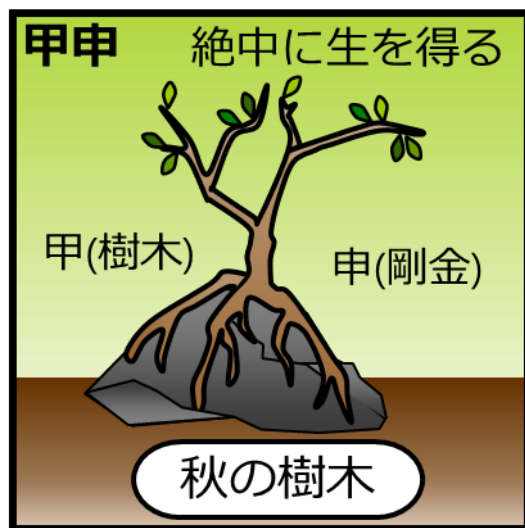
→ 車騎星 → 水源

絶中に生を得ている

文化に根ざす生き方となる。
金気が強く、樹木は根を張って
生き延びることが困難。
火性が他にあることで金気を
剋し、良好な人生となる。

木が老い、枝葉は枯れ始め
根が張れない樹木

普通の人と交わらない、理想が高い人。
夢が大きい人、実現不能で人がついて
いかない。気位が高い人。



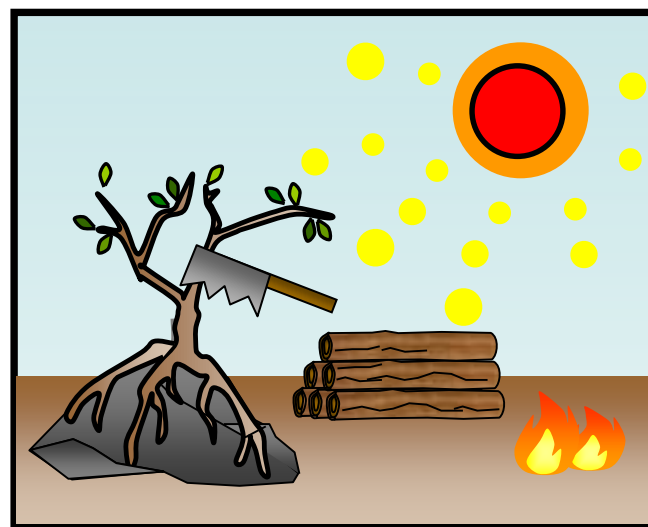
甲申 ～ 天風(理想が高い人)

- まず本人を生かすことが第一だが、金性の強い甲なので、用材として役立つのも良い。
(鋭利な刃物で枝葉を切り、何かの役に立っていく人生)
- 用材の場合は癸(真水)よりも、壬(塩水)で洗い乾燥させて用いると良い。
(壬は木材を目的地まで流す役目と、身を締める役目が有る)

【例】

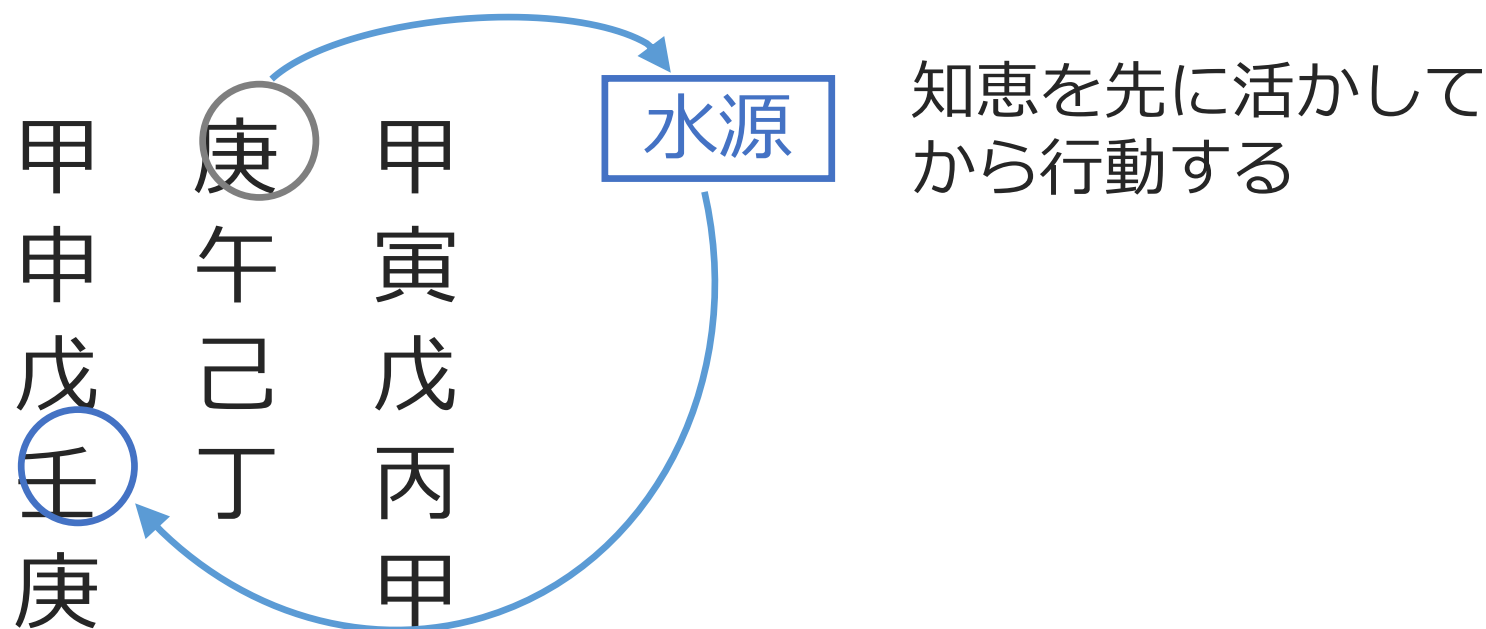
	庚	丁	刃物
甲	申	巳	
申	申	巳	
戊	戊	戊	
壬	壬	庚	
庚	庚	丙	

從運として
コントロール



甲申 ～ 天風(理想が高い人)

【例】 松井秀喜選手
昭和49年6月12日生まれ



庚に対する火性の考え方は二通り。
庚を剋す丁は直火で効果大、庚を遠火で剋す丙は効果小。
庚を刃物として活用する場合、制剋は丁を基本とする。
丁は部分を暖め剋し、丙は広い範囲を暖め剋す。

甲申 ～ 天風(理想が高い人)

甲申の自然界の事象は、逆剋で根の生育が不可能の状態である。

根が育成できない樹木の場合、余分な水分(癸の雨が多い場合)は根腐れを起す。

甲を材木として活用する場合には、同じ水性でも海の水・大河の水(壬と思考)がより有利になり目的地まで労力少なく流して運ぶことが出来る。

また樹木は塩水(壬)に漬かる事で身が締り良材となる。

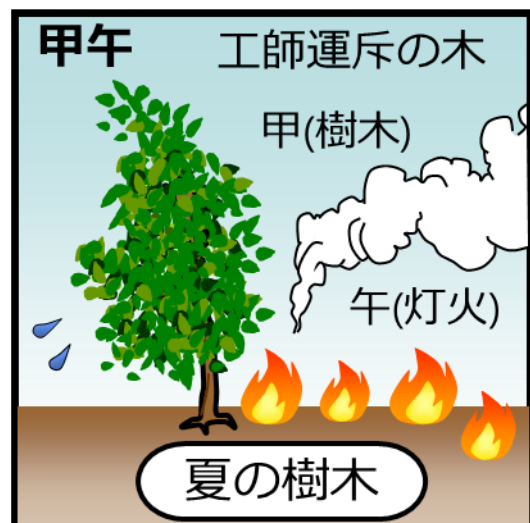
甲午 ～ 工師運斥の木 (職人が加工するのに最適の木、死木)

甲 木
午 火

天極星(2)

己 土 → 司禄星 → 財運が潜在(福德倍加)

丁 火 → 調舒星 → 暖かさ

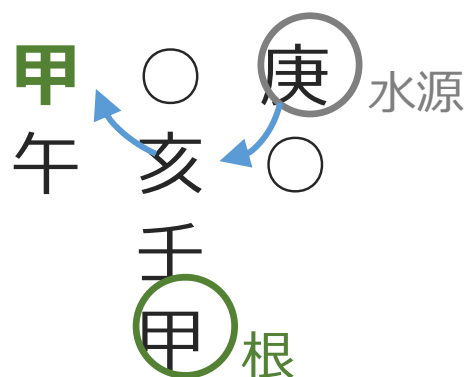


直情快行、お人好し、人を疑うことを
知らない。純粹に人のものを受け取る人。

甲午 ～ 工師運斥の木

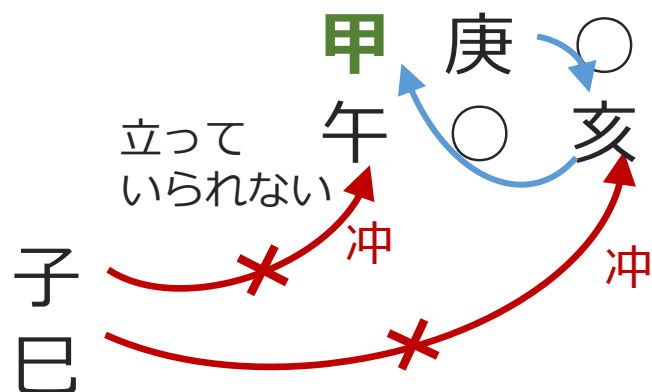
- 自立運とする為には水をもって助けることが急務。
- 棟梁の材として用いることも益とする。
→この場合は庚が吉。
- 夫婦間はやがて反目し禍は避けられない。

【例1】



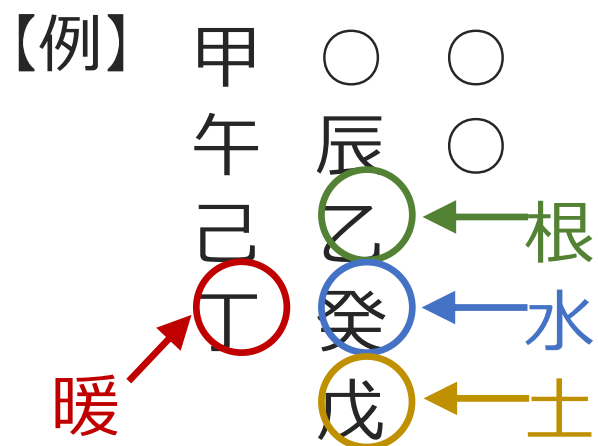
死木が生き返る

【例2】



材木とした方が良い

甲午 ～ 工師運斥の木



左記は自立するのに必要な要素が全て揃っている。
(水、火、土、木(根))

☆ 甲午にとって、亥・辰は福德倍加となる。
宿命中になくとも、後天運で巡ってくる年は吉。

甲午 ～ 工師運斥の木

甲午は晩年期に天極星が表出する。天極星が配偶者(西方)の力量に相当するのである。

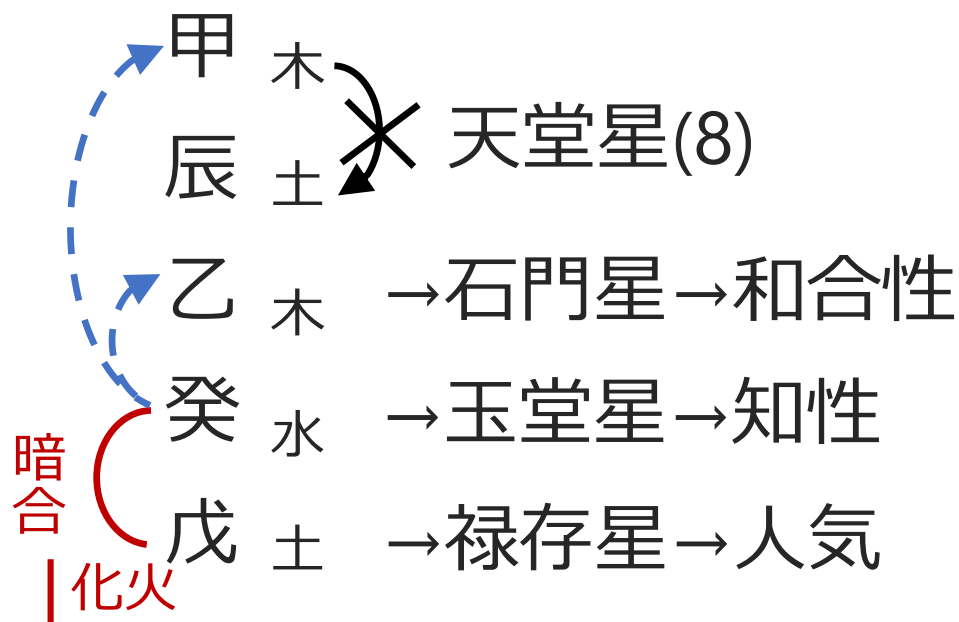
配偶者の現実における力量が天極星(死人状態)という事は、どんなに素晴らしい配偶者を得ても話がずれたり合わなかったり、誤解を生んでしまう。

本人が得る配偶者は、この世に生きている意識の無い人だからであり、この世の人とあの世の人が結婚してもうまくいかないのが道理なのである。

しかし、午の中の己と干合の関係が成立するので(真の結婚の意味となる)、たとえ理解できなくとも夫婦仲が陰悪となっても、生涯の伴侶となっていく。

一度結婚すると、その相手が良い悪いに関係なくなかなか別れる事が出来ない。

甲辰 ～ 常緑の木



鳳閣星・調舒星が
内在している



松・神木であり、人々が
寄り添いやすい木

先祖を大切にし供養する
宗教性の強い星

甲辰 ～ 常緑の木

- 男女共、他人の力を借りず充分自立可能。
- 信仰心、徳厚き人が多く若年に苦勞しても中年期から晩年期に運が開花(成長が遅い)。
- 女性は聡明で清く優秀な人が多いが、良縁に恵まれにくい。

理由: 同格夫婦となり、自立出来るので
夫の支えが要らないから。

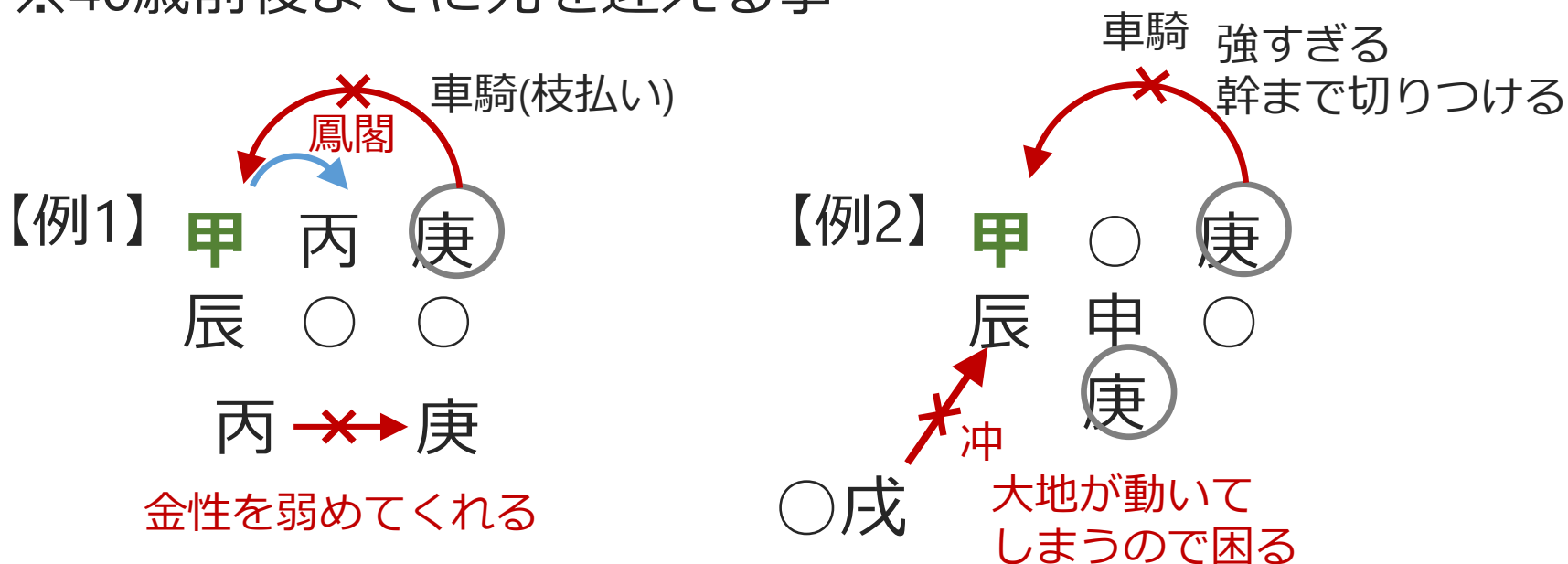
- 自ら天堂星に座し、若い時から老人に好かれ縁が深くなる。

甲辰 ～ 常緑の木

- 水多(龍高星・玉堂星) → 知恵の使い過ぎ
- 土多(禄存星・司禄星) → 愛情のかけ過ぎ

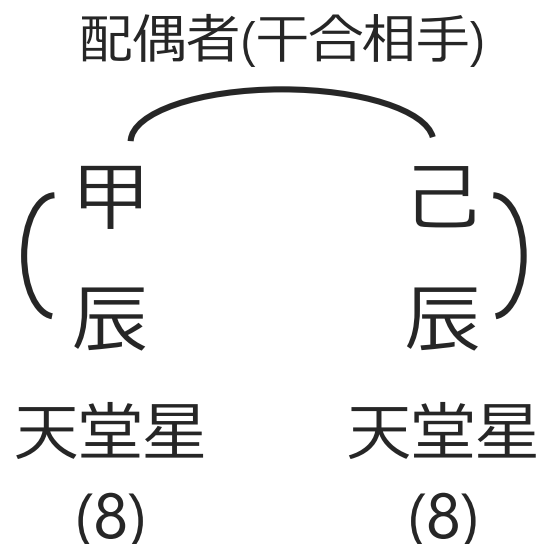
この二つの場合は、貧老(放浪性)か夭折※(ようせつ)する事もある。

※40歳前後までに死を迎える事



甲辰 ～ 常緑の木

- 同格夫婦
 - 一家に王様が二人いること。
 - 上下の差がなく対等で友達のような夫婦となる。
→喧嘩をするとどちらも折れることがない。



甲辰は自らが天堂星に座し、その配偶者である己もまた、天堂星となる。

どうしても和合し難くなるため良縁に恵まれない

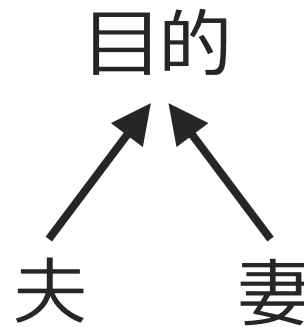
甲辰 ～ 常緑の木

陰陽五行論思考の夫婦



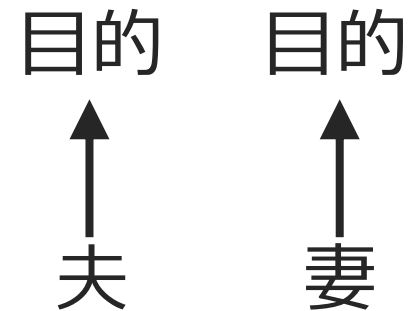
順当な夫婦

男性の方が女性よりも強く
そのエネルギーの差によって
夫婦和合が成立(理想の夫婦)



同志夫婦

対等の立場で夫婦の
目的を共有



友人夫婦

お互いに別々の目的を
持った二人が夫婦として
共存している

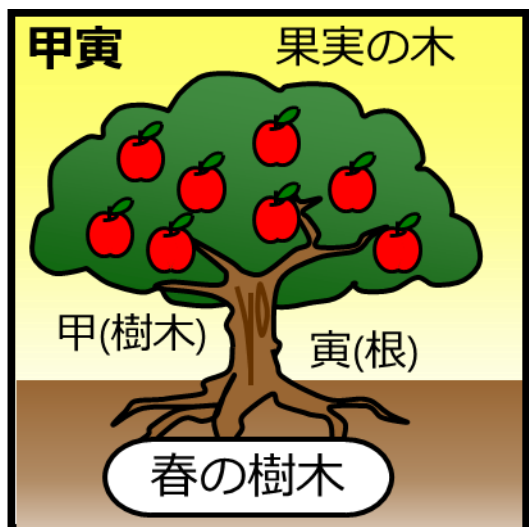
*** 改良：スタート時点でよく話し合うこと**

甲寅 ～ 果実の木

完成された姿

甲 木
寅 木
戊 土 → 禄存星 → 財力(禄分)
丙 火 → 鳳閣星 → 健康(寿分)
甲 木 → 貫索星 → 自我(福分)

天禄星(11) 甲の旺地

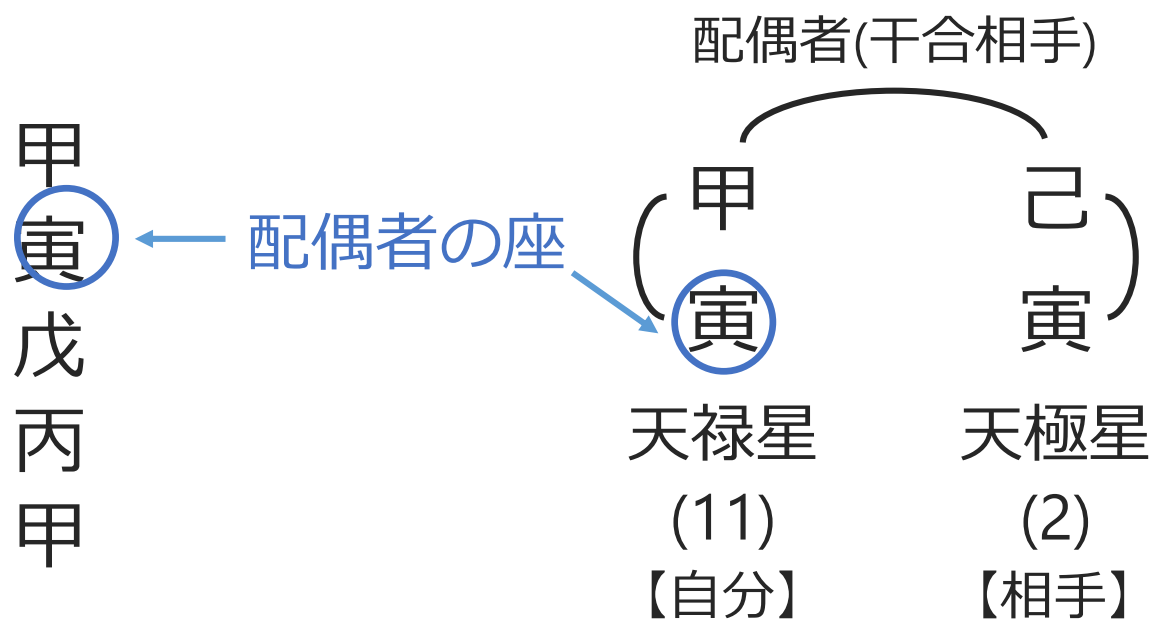


最も安定した姿。人間界にあって
指導者・引率者の意味あり。

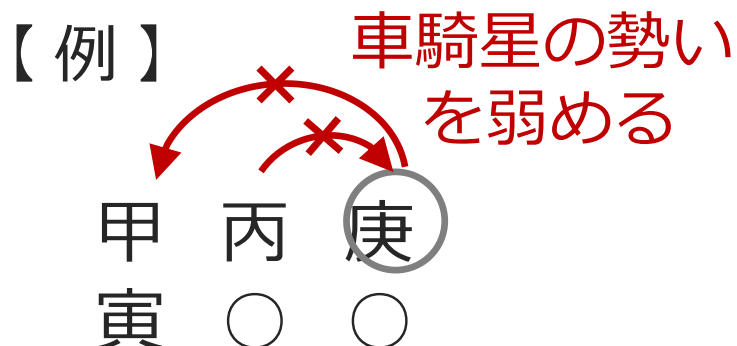
人生を段階的に上り、下るところがない。
最後に高い所に上る人。
積み重ねの人生となる。

甲寅 ～ 果実の木

- 男女共、自立運で大成者が多く出る。
- 気を洩らした生き方で存在感が出る。
- 男性の場合
 - 実業家に多く、別宅を持ち易い(座下に愛人)。
禄存星=偏妻
- 女性の場合
 - 夫が短命になり易い(夫婦の力量差が大きい)。



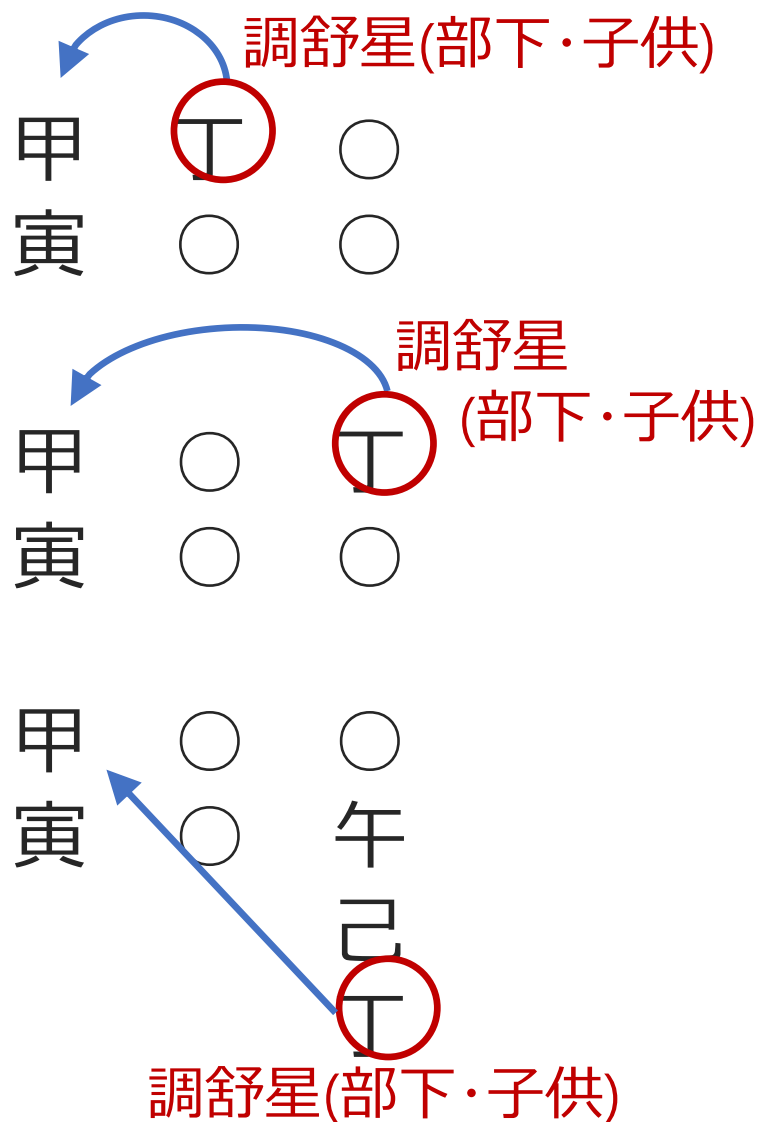
甲寅 ～ 果実の木



金性は弱いことが条件
実を落とさないように
(人生の成果の損失に繋がる)

- 甲寅は、男女共足下がしっかりとしている。
- 男女共、仕事の世界で自己確立を果たし、大成者が多く生まれる。
- 但し、男性は実業の成功者を出し易いが、家庭運はあまり恵まれず、配偶者に任せられない家庭となる。
- もし、外見上平穏な家庭であっても、夫が別宅を持つか、子供が辛い思いをする家庭となり易い。

甲寅～果実の木



直火(丁)で
水分が少ないと
木が燃える恐れあり

改良

子供・部下は、少し距離を置く
※調舒星なので特に女性の
部下、女の子